

News 近畿圏広域地方計画 ニュース 2013.3 vol.26

近畿の未来を見つめて、新しい地域づくりを考える

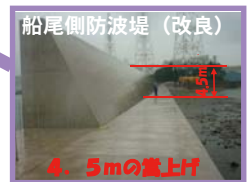
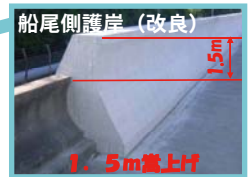
国土交通省 近畿地方整備局 近畿圏広域地方計画推進室
TEL. 06-6942-1141 (代)

近畿圏広域地方計画(防災関連)の知見を深める現地調査会を実施しました!!

今後発生する津波等自然災害に対する防災施策に向けた取り組み等に活かすため、和歌山下津港海岸(海南地区)での津波対策事業や稲むらの火の館・広村堤防についての現地調査会を実施しました。本号では、当事業の概要および稲むらの火の館・広村堤防についてご紹介します。

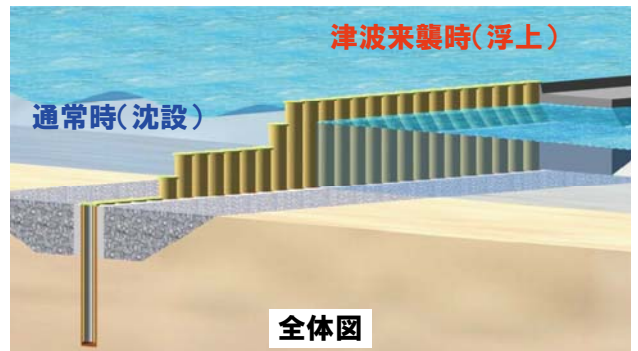
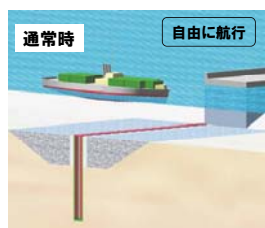
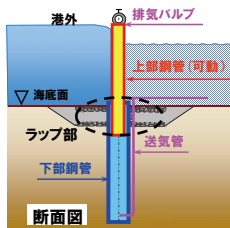
和歌山下津港海岸(海南地区)津波対策事業の概要

海南市街地の津波被害を軽減するため、平成21年度より、和歌山下津港海岸(海南地区)において、護岸(改良)、水門、直立浮上式津波防波堤などの津波対策事業が実施されています。直立浮上式津波防波堤には、世界初の技術が採用されています。



直立浮上式津波防波堤の概要

- 通常時は海底面に格納され、津波来襲時のみ上部鋼管が浮上。(浮上時間約10分)
→ 平常時は、船舶が自由に航行。
- 浮上・沈降の動力は送気・排気のみ
- 海面下約13.5mから海面上約7.5mまで浮上。
→ 予想津波高さ、潮位観測基準面+7mに対応



稲むらの火の館・広村堤防

安政の南海地震(1854年)による大津波が広村を襲った際に「稲むらの火」を灯し、村人を救うとともに、広村堤防築堤で広村の防災百年の計を成し遂げた濱口梧陵の功績について、稲むらの火の館では学ぶことができます。

稲むらの火の館

現地調査会では、ガイダンス、3D映像、施設見学等を通して、濱口梧陵の防災に向けた精神、人命尊重の精神を学びました。

<HPアドレス>
<http://www.town.hirogawa.wakayama.jp/inamuranohi/>

広村堤防

現地調査会では、語り部の方(ボランティア)により、濱口梧陵が築堤した広村堤防現地にて、関連する歴史等(築堤に至った経緯、同堤防が防いだ津波等)に関する案内を頂きました。

濱口 梧陵 (はまぐち ごりょう) …1820年(文政3年)～1885年(明治18年)

濱口梧陵は、安政地震の津波の襲来時に、暗闇でどこへ逃げればいいのかかわらない村人のために、稲むら(稲束を積み重ねたもの、和歌山の方言ではすずき)に火を放ちました。この火を目印に村人を誘導して多くの命を救いました。この実話をもとにして作られたのが「稲むらの火」です。

梧陵は、その後も被災民救済と復旧作業に尽力しました。また、百年後の津波から村を守るため巨額の私財を投じ、高さ5m、幅20m、長さ600mの大堤防の築造にも取り組みました。この大工事に村人を雇用することで、津波で荒廃した広村は奇跡の復興を遂げることができました。

広村堤防は1938年(昭和13年)、国に史跡指定され、毎年11月には100年余りの歴史がある「津浪祭」が開催され、梧陵の偉業を称えています。

出典:「稲むらの火の館」のリフレット

はなやか関西～文化首都年～2012「人形浄瑠璃」のまとめ

関西の特徴である文化の集積を活かし、文化首都圏として発展させる取組である「はなやか関西～文化首都年～」では、2012年は「人形浄瑠璃」をテーマに以下の取組を実施し、一定の成果を得ました。

>>>実施した取組

1. 関西各地の「人形浄瑠璃」取組参加団体（44団体）をネットワーク化

取組参加団体が実施する各取組を「はなやか関西」のプロモーションで紹介するとともに、有志の団体も参画する実行委員会を組成し、取組内容の検討及び意見交換しました。

2. コア事業（財）徳島県文化振興財団が実施

「自立した取組の推進」「事務局の負担軽減」の観点からコア事業体制を試行しました。

- ①第15回阿波人形浄瑠璃芝居フェスティバル【平成24年9月29日（土）～30日（日）】
- ②全国人形芝居フェスティバル【平成24年10月20日（土）～21日（日）】

3. 実行委員会が実施する取組

- ①「人形浄瑠璃」フォーラム【平成24年10月6日（土）】
- ②「人形浄瑠璃」ツアー（全4回）
 - ・淡路人形座復活演目の観劇会【平成24年11月1日（木）】
 - ・犬飼農村舞台鑑賞と阿波の木偶に触れる旅【平成24年11月3日（土）】
 - ・文楽ゆかりの地めぐり・文楽鑑賞の旅【平成25年1月14日（月・祝）】
 - ・留学生モニターバスツアー（長浜市）【平成25年3月6日（水）】
- ③プロモーション事業
 - ・ホームページ上での情報発信
 - ・「人形浄瑠璃」公式ガイドブック・リーフレットの作成・配付
 - ・「人形浄瑠璃」公式Facebookによる情報発信
 - ・具体的取組にかかるチラシの作成・配付
- ④「人形浄瑠璃」タイアッププログラム



>>>効果と課題の総括

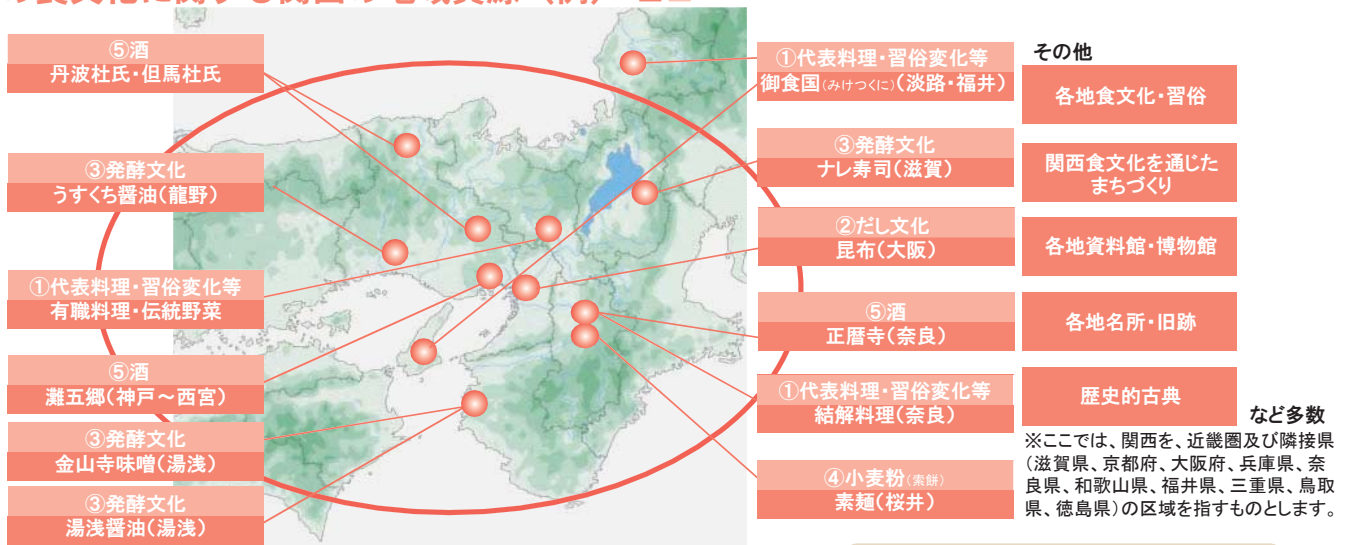
- ◆ プロモーション事業やフォーラム実施による人形浄瑠璃及び取組参加団体の活動の認知度向上、文化首都圏・関西のPRに一定の成果がありました。しかし関西において広く一般に認知されておらず、今後、認知度向上に向けたより効果的なプロモーションの検討が必要です。
- ◆ 学生発表やツアー開催により、若年者層の取り込みやツアー実施による経済波及効果等、文化首都圏・関西のPRに一定の成果がありました。今後も学生を活用したイベント等を検討し、つながりの維持・拡大を図ります。ツアーについてはより魅力的なツアーのあり方を検討する必要があります。
- ◆ タイアッププログラムやモニターバスツアーの開催により、インバウンド効果・外国人の人形浄瑠璃ファン創造に一定の成果がありました。しかし関西の魅力を外国人に対して十分に発信しているとは言えず、外国人に関西の魅力を積極的にPRしインバウンド効果を高めていくことを検討する必要があります。

「はなやか関西～文化首都年～」平成25年度のテーマは「関西の食文化」

「日本食文化」が国連教育科学文化機関（ユネスコ）の世界無形文化遺産に登録提案されている今、改めて日本の食文化の原点を考える必要があります。関西各地には、古事記・日本書紀・万葉集や枕草子・源氏物語に代表される古典や歴史書にも登場するような、日本食文化の原点ともいえる古からの食材や伝承・伝統料理が今も数多く存在します。

このように、関西に起源のある日本食文化を歴史の面から紐解き、日本人の美意識や生活習慣にも影響を及ぼしてきた『日本食文化の源泉としての関西の魅力』を、国内外に向けて発信していくこととしました。関西を代表する食文化として、①各年代の代表的料理・習俗変化等②だし文化③発酵文化④小麦粉⑤酒という5つのジャンルに分類し、故事来歴を紹介しながら「関西の食文化」の魅力を発信します。

■ ■ 関西の食文化に関する関西の地域資源（例） ■ ■



近畿が変わります Revive KINKI

近畿圏広域地方計画協議会は、以下の機関で構成されています。(平成21年6月10日現在)

- <府 県> 福井県 岐阜県 三重県 滋賀県 京都府 大阪府
- <指定都市> 京都市 大阪市 堺市 神戸市
- <市 町 村> 近畿市長会 近畿ブロック府県町村会
- <経済団体等> (公社) 関西経済連合会 大阪商工会議所 (一社) 関西経済同友会 京都商工会議所 堺商工会議所 神戸商工会議所 関西広域機構
- <国の地方支分部局> 近畿管区警察局 総務省近畿総合通信局 財務省近畿財務局 厚生労働省近畿厚生局 農林水産省近畿農政局 林野庁近畿中国森林管理局 経済産業省近畿経済産業局 経済産業省中国経済産業局 国土交通省近畿地方整備局 国土交通省中部地方整備局 国土交通省中国地方整備局 国土交通省近畿運輸局 国土交通省神戸運輸監理部 国土交通省大阪航空局 気象庁大阪管区気象台 海上保安庁第五管区海上保安本部 海上保安庁第八管区海上保安本部 環境省近畿地方環境事務所

● ホームページでさらに詳しい情報を提供しています。
 近畿地方整備局ホームページ
 国土形成計画 近畿圏広域地方計画
<http://www.kkr.mlit.go.jp/kokudokeikaku/>
 アクセスは、検索サイトから